

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスれもん

保護者等数(児童数) 22名

回収数 20名

割合 91%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	18			2	・見学の際はきれいだった。 ・適切な広さだと思う。	・支援内容により、和室・フローリングの訓練室を利用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	18			2		・常勤職員は保育士、臨床心理士の資格を有しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	17			3		・建物の構造上、階段や若干の段差はあります。そのため常に注意喚起や見守りを行い事故防止に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	18			2		【感染症予防対策、日々の清掃に努めています。】
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	20					【日々の様子をお伺いし、保護者様と一緒に確認しながら作成できるよう努めます。】
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16	1		3		【個別支援計画の面談の際に、ご説明いたします。】
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	20					【個々の個別支援計画に沿った個別プログラムや集団活動を実施しています。】
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	20					【いろいろな経験ができるように、プログラムを検討し、実施しています。】
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある						
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	20					【契約時の際にご説明させていただいております。】
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	20					【丁寧に説明するように努めております。】
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている						
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20				・送迎時にその日の様子を教えていただけるのありがたい。	・連絡帳にて利用中の活動内容の記載、送迎時やメールにての情報共有をさせていただいております。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	20				・時間をかけて、お話を聞いていただけるのありがたいです。	【6か月に1回は面談をさせていただいておりますが、助言や面談も随時お受けさせていただいております。】
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	9	2	5	4	・あるのかもしれないが、参加したことがない。 ・れもんだよりで勉強させてもらっています。交流もあるといいなと思います。等	【コロナ禍以前はれもんカフェを開いていましたが、今後の検討課題にさせていただきます。】
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	20					【電話やメールでの相談につきましては、できるだけ迅速に対応させていただきます。】
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	20						

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	20					【現在、月1回お便りを配布させていただき、行事やレクリエーション、制作活動の予定を載せております】
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	20					【今後も十分注意いたします。】
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	18			2		【感染予防防止委員会等を設置し、定期的開催、研修を行っております。】
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	18			2		【年2回、発生を想定した避難・火災の防災訓練を実施しています。おたよりに日程をお知らせしています。】
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	20				・とても楽しみにしている	【うれしいお声をありがとうございます。職員一同、今後も楽しくご利用していただけるよう、対応させていただきます。】
	23 事業所の支援に満足している	20					【利用者様、保護者様に満足いただけるよう支援に努めて参ります。】

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月10日

事業所名 児童デイサービス れもん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			・長期休暇時を除き、指導訓練室等スペースは過ごしやすい環境づくりになっていると思われまます。
	2	職員の配置数は適切である	9			・適切な人員配置を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	3	トイレの扉、指詰め防止器具、階段滑り止めなど	・建物構造上、改善できるところは行い、注意喚起や声かけを行い安全面に配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9			・日々、清掃、共用部分のアルコール除菌を行っています。また、注意を促すための注意喚起のポスターの掲示をしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	-	-		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			・評価結果を踏まえて、今後の業務改善に繋がります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			・利用者様へ配布、ホームページにて掲載しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		9		・まだ第三者評価を受けていません。今後検討させていただきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1		・職員に対して、オンライン研修の受講、研修会場への参加の機会を設けています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			・個別支援会議を開き、職員間で確認し合い定期的に見直しをしています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			・事業所独自のアセスメントシート等で利用者様の行動状況の把握に努めています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			・個別支援計画において具体的な支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		・主になる職員(保育士)が中心になり立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			・集団レク、工作活動、運動やゲーム性などいろいろ工夫しています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			個々の障がい特性に応じた、個別課題や集団活動(粗大運動など)内容を組み合わせ合わせた計画を作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2		できているときとできないときがあります。必ずではありませんが、伝えたい時はメモに書き留め伝えていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2		・感染予防の観点から、清掃・除菌に時間を費やすことや、出勤・退勤が異なることもあり難しいときがあります。そのため、職員間の連絡ノートのツールなどで情報の共有を図っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・連絡ノート(個別の記録表)の記載、など利用時の状況を細かく記載しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			・定期的にモニタリングを行い計画案の必要性を職員間で話しあい判断しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・必ず、サービス担当者会議には児発管及び保育士が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1		・個々の障がい状況に応じて、相談支援事業所などと連携を踏っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4		・送迎時に様子を聞く程度のため、保護者を通じて情報の共有を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		・専門機関との連携はないが、2ヶ月に1回事業所連絡会に参加したり、外部の動画配信サービスにおける研修を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8		・交流する機会が、コロナ禍等でできていません。今後検討します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1			・自立支援協議会(児童部会)に積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・送迎時にお話をしています。また、メールや電話で伝え合っています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8			・ペアレント・トレーニング等はしていませんが、家族支援(相談・アドバイス)は行っています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		・コロナ禍のため、実施できませんでした。今後は検討いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			・毎月れもんたよりを発行し、利用者様に配布しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			・今後も十分注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9			・玄関、事務室に常設しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			・年2回、防災訓練(避難・災害を想定した)を実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9			・ご利用前に事前調査において確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3		・医師の指示書がある利用者様はいませんが、契約時にアレルギーについての聞き取りをさせていただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			・職員会議において、研修会を開き共有を図っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			・虐待防止委員会の設置。外部研修の参加、研修報告を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9			・身体拘束適正検討委員会を開き、必要に応じて個別支援計画書に記載、また、身体拘束に関する同意書を締結しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。